

令和8年度 埼玉県SDGs庁内推進本部会議

議題

- (1) 令和7年度の実績について
- (2) 令和8年度の実績について

(1) 令和7年度の取組実績について①

県民や企業、NPO、大学、金融機関、各種団体など多様なプレイヤーとの協働を通じて、誰一人取り残さない「日本一暮らしやすい埼玉」の実現を目指す

企業・団体

取組へのサポートの充実

登録

SDGsに取り組む企業・団体を登録する
「埼玉県SDGsパートナー登録制度」



認証

高いレベルでサステナブル経営に取り組んでいる企業を認証する
「埼玉県サステナブル企業認証制度」



埼玉県SDGs 官民連携 プラットフォーム

- ・官民連携の促進
- ・シンポジウム等の開催
- ・分科会による検討

県民レベルの参加促進

- ・アプリ「エスキューブ」の普及
- ・学校・イベント等による意識醸成

県民

市町村

連携して全県展開

- ・先進的SDGs事業への支援
- ・市町村の取組の広報

埼玉県

部局横断で推進

- ・埼玉県SDGs庁内推進本部での展開

(1)令和7年度の取組実績について②

1. 埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム

【会員数】実績: **2,516者** / 目標: **2,400者**

- ① **シンポジウムの開催** (共催)一般財団法人地域活性化センター
テーマ:SDGsの現在地とこれから～日本一暮らしやすい埼玉へ～
日時:令和7年7月9日(@埼玉県県民健康センター大ホール)
参加者:**177人**



シンポジウムの様子(R7.7.9)

② 分科会での活動

詳細は、次ページ参照

成果報告会:令和8年2月13日開催 会場参加者**81人**、WEB視聴者**90人**

③ 会員と連携したイベントの開催

「埼玉SDGsフェア2026」(@イオンモール浦和美園)

令和8年1月17日、18日開催:**12**ブース出展、2日間で**682人**参加



埼玉SDGsフェア2026の様子(R8.1.18)

④ メールマガジンによる情報発信

講演会・セミナーの案内など**計30回**配信(R8.3末)

(1)令和7年度の取組実績について③

1. 埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム

分科会名／検討部会名	構成メンバー数	会議等開催回数	主な活動内容
「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会	62者	27回	
水辺空間の持続可能な環境課題解決に向けた検討部会	7者	8回	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大森調節池(入間市)周辺の自然環境の整備 ○ 市民団体・行政・企業によるヨシ刈りワークショップ
都市公園の持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会	55者	19回	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東武東上線ラッピングデザイン「クオッカトレイン」によるPR ○ 大宮公園舟遊池の自然再生及び七夕イベント、防災秋まつり、検討部会フォーラムの開催 ○ 食と農林業ドリームフェスタ・熊谷市産業祭への出展
「未来を創る人材への投資」分科会	8者	7回	<ul style="list-style-type: none"> ○ 浦和第一女子高等学校生徒による食品ロスに関する啓発活動・フードライブの実施
「フードロス削減」分科会	26者	6回	<ul style="list-style-type: none"> ○ フードロス削減に関する啓発イベント及びワークショップの実施
「サーキュラーエコノミー推進」分科会	406者	5回	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会員による事例発表を通じた先進事例の共有 ○ 企業・行政・幼稚園団体による歯ブラシリサイクルの実施
「カーボンニュートラル推進」分科会	46者	9回	<ul style="list-style-type: none"> ○ 脱炭素セミナーや交流会を通じた先進事例の共有 ○ 会員によるカーボンフットプリントの算定及び省エネ診断の実施
<新>「ネイチャーポジティブ推進」分科会	33者	13回	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会員による先進事例の共有及び交流会の開催 ○ 地域の生態系回復を目的とした緑地再生プロジェクトの始動
<新>「水と人をつなぐ、水循環」分科会	21者	7回	<ul style="list-style-type: none"> ○ ダム等水源地における地域振興イベントの実施 ○ 「水と人をつなぐ、水循環」セミナーの開催
計	602者	74回	

(1)令和7年度の取組実績について④

2. 埼玉県SDGsパートナー登録制度

【登録者数】実績: **2,205者** / 目標: **2,200者**

SDGsに自ら取り組む県内企業・団体を登録

- ・年3回(4月、8月、11月)募集受付 **282者増**
- ・「埼玉県行政手続デジタル完結サービス」による申請受付により**事業者の負担を軽減**

【参考】「埼玉県SDGsパートナー登録者へのアンケート調査」(令和7年9月)

貴社(貴団体)がSDGsに取り組んだことにより得られた成果。(上位3つ)

- | | |
|-----------------|-------|
| ①企業イメージの向上 | 77.5% |
| ②企業価値の向上 | 52.8% |
| ③従業員のモチベーションの向上 | 30.3% |



企業へ交付する登録証

(1)令和7年度の取組実績について⑤

3. 埼玉県サステナブル企業認証制度

①制度の創設(R7.10.22~)

県内中小企業の持続的な経営を促進し、「日本一暮らしやすい埼玉」を実現するため、**高いレベルでサステナブル経営に取り組んでいる企業を認証**する制度を創設した。

②審査及び認証

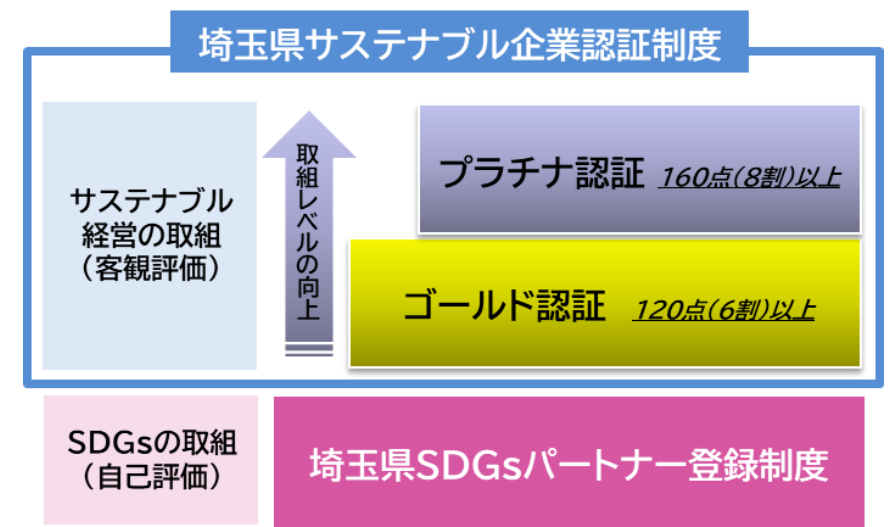
申請企業数:42社

認証企業数: **7社**(内訳:プラチナ認証なし、ゴールド認証7社)

※記載順は五十音順

	企業名	(主な業種)	(市町村)	区分
1	伊藤鉄工株式会社	製造業	川口市	ゴールド
2	小川工業株式会社	建設業	行田市	ゴールド
3	株式会社セイコーアドバンス	製造業	蓮田市	ゴールド
4	株式会社日さく	建設業	さいたま市	ゴールド
5	株式会社八洲電業社	建設業	さいたま市	ゴールド
6	古郡建設株式会社	建設業	深谷市	ゴールド
7	和光紙器株式会社	製造業	川口市	ゴールド

制度の体系図



認証ロゴマーク



(1)令和7年度の取組実績について⑥

4. 県民へのSDGs普及の取組

①埼玉版SDGs推進アプリ「S³(エスキューブ)」【登録件数】実績:33,189件／目標:40,000件

- ・県内企業等と連携したプレゼントキャンペーンの実施
- ・県内の学校(小学校・中学校・高校)でのアプリ広報



プレゼントキャンペーン(左:浦和レッズ、右:埼玉県公園緑地協会)

②県政出前講座による普及活動

(年12回実施)



県内の学校での出前講座(左:聖学院大学、右:不動岡高校)

③県内企業、市町村等との連携



浦和レッズホームゲーム(R7.8.16) 市町村と大学との連携事例発表(R7.12.23)

(1)令和7年度の取組実績について⑦

5. SDGsの実現に向けた教育推進事業

民間企業やNPO等の団体と連携し、児童生徒が様々な課題を自分事として捉え、その解決に向けて自ら行動を起こす力を身に付けることを目的に**研究事業**を実施(令和5年度～)

- ・令和6年度までモデル校で実施した取組を、令和7年度は対象市町(*2)の**全ての小中学校**(モデル校以外の47校)へ拡大し、研究実践を推進した。(*2)上尾市、川島町、皆野町、蓮田市
- ・市町村教育委員会、小中学校の管理職及び教員を対象に、研究協議会(2回開催)を開催し、モデル校の取組を紹介するとともに、**埼玉県SDGsパートナー登録企業などと連携による教育の普及・拡大**を図った。
- ・小・中学校教員等を対象に**授業公開**及び**研究発表会**(5回開催)を実施し、研究成果の全県展開を進めた。

<研究モデル校(小学校4、中学校4 計8校)>

上尾市立今泉小学校、上尾市立西中学校

川島町立つばさ小学校(*1)、川島町立川島中学校

皆野町立三沢小学校、皆野町立皆野中学校

蓮田市立黒浜南小学校、蓮田市立蓮田南中学校

(*1)川島町率つばさ小学校はR7に川島町立つばさ北小学校とつばさ南小学校が統合



中学生が地域課題の解決策について地元の方と協議

(1)令和7年度の取組実績について⑧

6. ESG債の発行

①埼玉県ESG債(サステナビリティボンド)の発行

・発行額 300億円

法人投資家向け:270億円 個人投資家向け:30億円(前年度から10億円増額)

※個人投資家向けではネットでの販売も行い、全国の個人投資家が購入

・主な充当事業

グリーンプロジェクト

- ◆治水・治山対策の推進
- ◆みどりの保全と創出

ソーシャルプロジェクト

- ◆危機管理・防災体制の再構築
- ◆子育て支援の充実

②グリーン共同債の発行

・43道府県・政令市が共同してグリーンボンド1,119億円を発行

※本県発行額は20億円

【充当事業イメージ】



砂防堰堤



放課後児童クラブ

(2)令和8年度の取組について①

1. 現状と課題



①現状

県民:県政サポーターアンケート

SDGsの認知度 令和2年度 29.1% ➡ 令和7年度 70.0%

SDGsに取り組む県民の割合 令和2年度 18.8% ➡ 令和7年度 49.0%

企業:四半期経営動向調査

SDGsの認知度 令和2年度 35.8% ➡ 令和7年度 82.7%

SDGsに取り組む企業の割合 令和2年度 4.3% ➡ 令和7年度 21.6%

②課題

SDGsの認知度は上昇したが、今後は、SDGsに実際に「**取り組む**」県民や企業を更に増やしていく必要がある。

(2)令和8年度の取組について②

2. 新たな取組

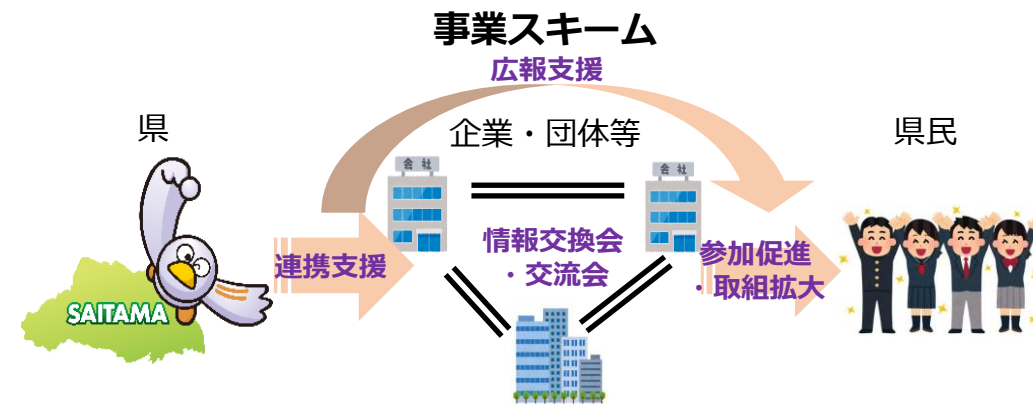
①SDGsアクション推進プロジェクト<新規>

【目的】SDGs実現に向けて取り組む県民や県内企業・団体を増やす

【概要】SDGs官民連携プラットフォーム会員企業などのSDGsの取組を促進するために、交流会などのマッチングにより、新たなイベント開催や取組等につなげSDGsの取組を活発化させる。
また、企業・団体等の活動を、県民に向けて県が周知・広報することで、県民が安心して参加できる機会を増やし、県全体のSDGsの取組を拡大させる。

《県による支援》

- ・情報交換会・交流会の開催(企業等のマッチング)
- ・県、企業等の協働による県民参加のイベント等の開催
- ・企業等の取組を県が広報



令和8年度目標

SDGsアクション推進プロジェクトへの参加者数 **35,000人以上**

(埼玉県行財政改革プログラム 令和8年度～10年度)

②県民向けSDGs情報発信<新規>

埼玉版SDGs推進アプリ「S³(エスキューブ)」は、SDGsの普及に一定の成果が得られたため、**令和8年10月末で終了し**、新たに**県民向けのSDGs情報を発信するポータルサイト**を県ホームページ内に構築する。

ポータルサイト概要

▶稼働開始予定

令和8年10月～

▶掲載内容

- ①エスキューブに掲載している情報(SDGsニュース、クイズ、食べきりレシピ 等)
- ②県内SDGs関連イベント情報
- ③SDGsに関する最新情報
- ④県内市町村のSDGsに関する取組紹介



(2)令和8年度の取組について④

3. 埼玉県SDGs 官民連携プラットフォーム

① シンポジウムの開催

企業等がSDGsを推進するための方法や事例を学ぶ講演会を交流会・情報交換会と併せて開催する。

② 分科会での活動

特定の分野におけるテーマを会員間で検討・実施する分科会を設置し、令和9年2月頃に成果報告会を開催する。



シンポジウムの様子

令和8年度設置の分科会

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| ① 市町村分科会 | ⑤ 「カーボンニュートラル推進」分科会 |
| ② 「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会 | ⑥ 「ネイチャーポジティブ推進」分科会 |
| ③ 「未来を創る人材への投資」分科会 | ⑦ 「水と人をつなぐ、水循環」分科会 |
| ④ 「サーキュラーエコノミー推進」分科会 | |

③ 「埼玉SDGsフェア」の開催

会員企業のブース出展による体験型ワークショップイベントを開催する。

時期：令和9年1月頃

場所：県内大型商業施設（調整中）



各ブースのワークショップ

(2)令和8年度の取組について⑤

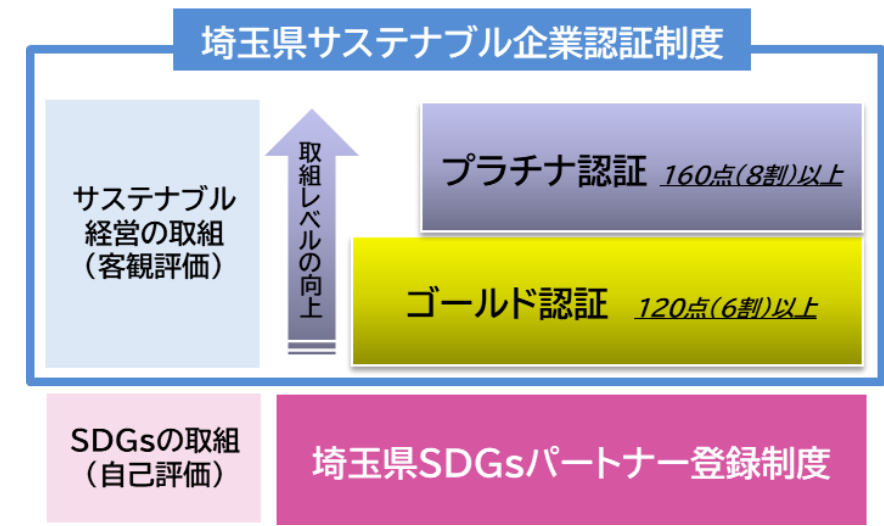
4. 埼玉県SDGsパートナー登録制度

登録ロゴマーク

- ・新規募集・登録(年3回)



両制度の体系図



5. 埼玉県サステナブル企業認証制度

認証ロゴマーク

- ・新規募集 (8月頃)
- ・認証企業の広報



【認証企業の広報】

求職情報サイトやSNS等を活用し、認証企業をPRすることで当該企業の知名度向上を図り、人材確保・定着につなげる。

< 具体的取組 >

- ・求職情報サイトやSNS(LINE)への記事掲載
- ・経済誌への記事掲載

(2)令和8年度の取組について⑥

6. 庁内各部署へのお願い事項

県民の方を対象とした**SDGs 関連イベント等**の情報提供に御協力ください。

①対象となるSDGs 関連のイベント等

主催者：県主催事業だけでなく、市町村、民間企業・団体等の企画・イベントも対象

場 所：県内での開催

費 用：参加者負担がある場合も対象だが、専ら営利目的の企画・イベントは対象外

②情報提供によるメリット（広報強化）

県民向けSDGs 情報発信ポータルサイトに企画・イベント情報を掲載

SDGs の企画・イベント情報を集約したチラシに掲載

③詳細について

情報提供の方法等については、**計画調整課から各部署主管課へ改めて御連絡**いたします。